

ご近所のお医者さん

□
706
□

堀井医院長 **堀井孝容さん** 一茨木市

胃がん早期発見

全国各地で胃内視鏡検診が始まっています。胃カメラで胃がんを早期に見るのが目的です。ではバリウム検診とどう違うのでしょうか？ まず白黒とカラーの差があります。また、胃内視鏡だと

バリウムのように被ばくしません

し、検査後に下剤でバリウムを押し流すしんどさありません。

胃内視鏡検診は、3年以内にもう一度受診することで、おおむね30から60

％の死亡率減少効果があるといわれています。バリウムだと、がん疑いの箇所から組織を採取するといった精密検査を同時にすることができません。それに対して胃内視鏡検診は、検診と同

胃内視鏡 積極的受診を

時に直接採取した組織を顕微鏡で詳しく観察することができ、健康保険での扱いになります。ほとんどの市町村で認められています。ただし厚生労働省の指針で、検診の対象となる方は50

歳以上で、かつ2年に1回だけという制約があります。また市町村によっては、麻酔を使った胃内視鏡ができないとか、血液が固まりにくくなる薬を飲んでいない方は対象外といった決まりも

たいの自治体は、胃内視鏡検診のための費用を負担しています。顕微鏡を用いた組織検査などは、別途健康保険での料金が発生します。そもそもおなかを痛いとか、胸やけなどの症状がある方は検診の対象外ですから、気をつけてください。

この検診は、胃内視鏡を施行した医師だけでなく、専門資格を持った医師

が後日ダブルチェックをして、がんの見落と



あります。

(府医師会広報委員会副委員長)